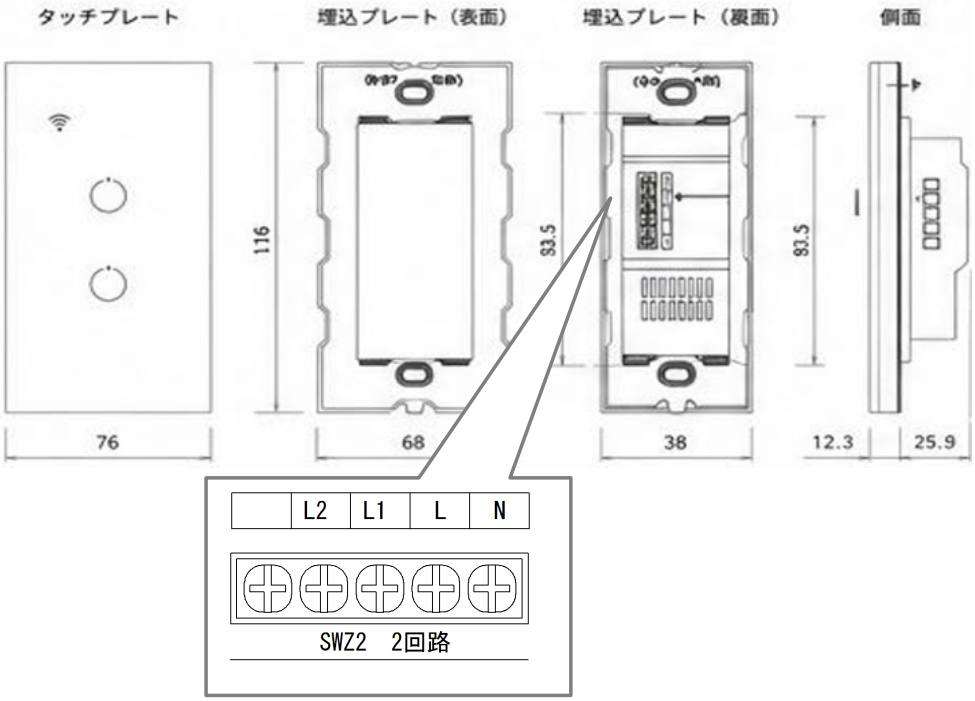
スマートスイッチ　仕様・施工内容

製品仕様



施工の特徴

施工区分

・製品設置は電気業者様にていお願いいたします。
（通常の照明スイッチ同様にボタンを押して動作確認までお願いします）

・アプリとの連携はリンクジャパンで行います。

施工ポイント

・本製品は片切スイッチタイプですが、本体の常時給電が必要です。
スイッチボックス内には電源線（L）および中性線（N）を配線してください。

・本製品には常時100Vが供給される回路へ接続してください。（専用回路は不要です）

取り付け手順

① タッチプレートと埋込プレートを取外す

② 各配線を埋込プレートの端子に接続する

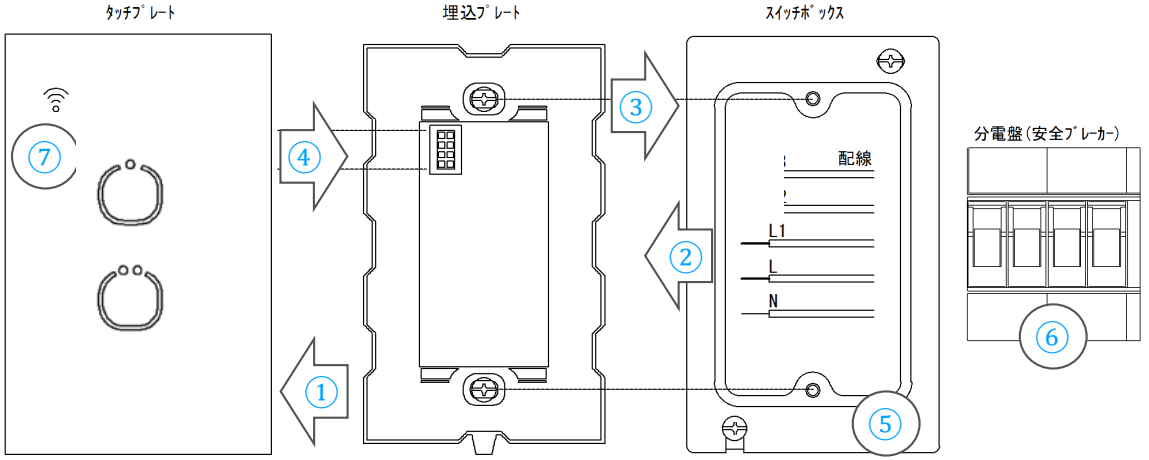
③ 埋込プレートをスイッチボックスに固定する(付属のネジを使用)

④ タッチプレートを埋込プレートに差込む

⑤ 正しく設置されていることを確認する
配線も正しく接続されていることを確認する(N・接地回路への接続は要確認)

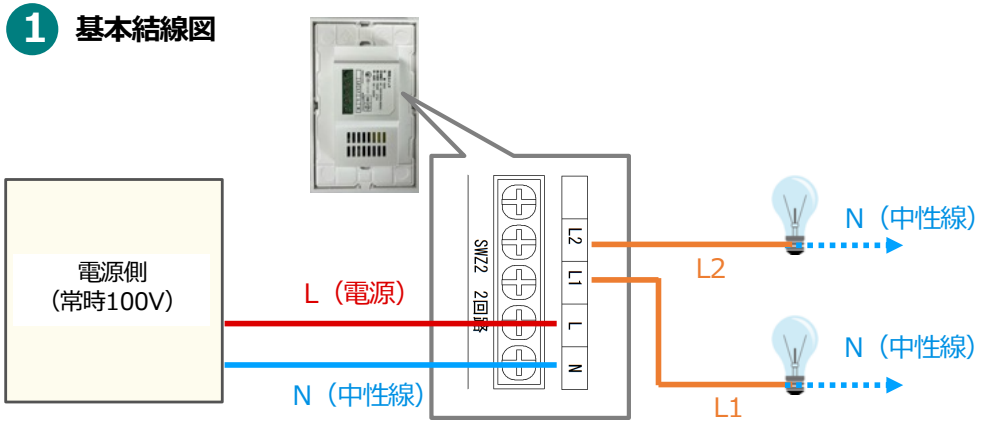
⑥ 回路の電源を入れる

⑦ インジゲーターのランプが点灯(青色)することを確認する



スマートスイッチ　基本配線

1 基本結線図



L（電源）
：100V常時電源

L1・L2
：帰り線（負荷線）

N（中性線）
：電源の中性線

施工ポイント

・常時100V（L・N）を必ず接続

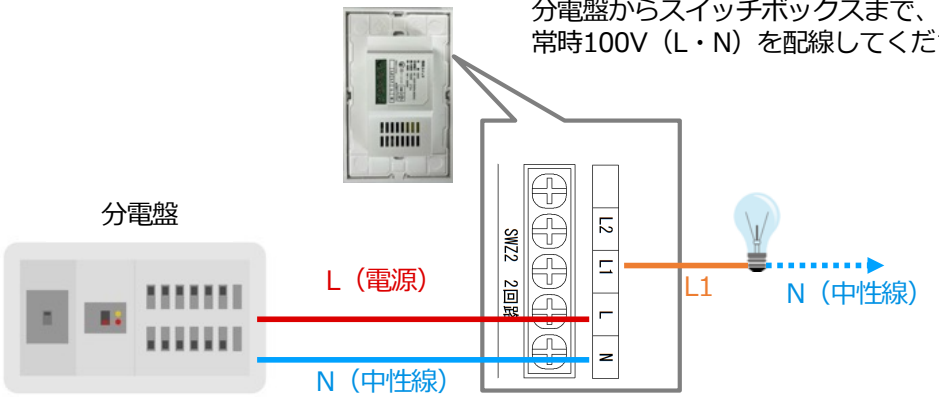
・スマートスイッチの端子に確実に接続
（緩みがないことを確認）

・配線後は通電・動作確認を行う

・対応照明器具はメーカー・機種の指定はありません。
AC100VでON/OFF制御が可能な照明器具をご使用ください。

2 新築の場合

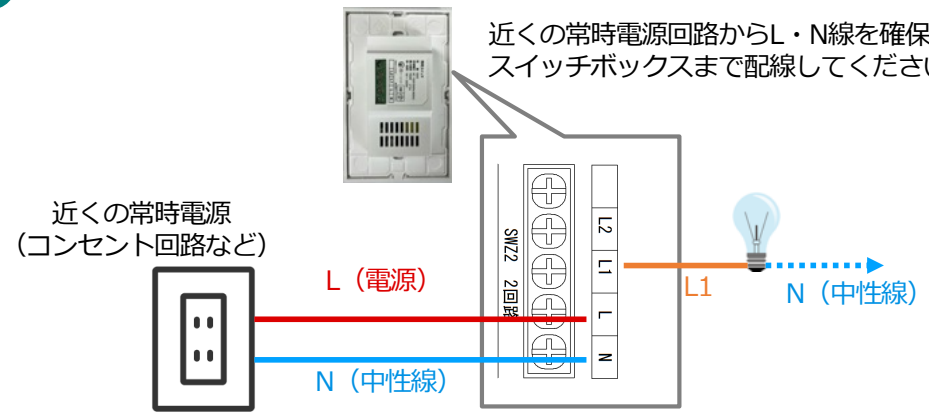
分電盤からスイッチボックスまで、
常時100V（L・N）を配線してください



3 既築の場合

※スイッチボックス内にN線がない場合

近くの常時電源回路からL・N線を確保し、
スイッチボックスまで配線してください



4 納品状態



製品は、スイッチパネルと台座を組み付けた状態で梱包されています。

施工前にスイッチパネルを取り外してください

5 施工後チェックリスト

- ☐ スマートスイッチのL・Nに常時100V供給されている
- ☐ スマートスイッチのL1（またはL2）が正しく緩みなく接続されている
- ☐ スマートスイッチがボタンを押して正常に動作する

スマートスイッチ　調光スイッチ接続方法

1 調光スイッチ接続で できること・できないこと

できること

・壁の調光スイッチで照明の明るさを調整
・壁のスマートスイッチで照明のON／OFF操作
・アプリで照明のON／OFF操作

できないこと

・アプリでの調光・調色操作

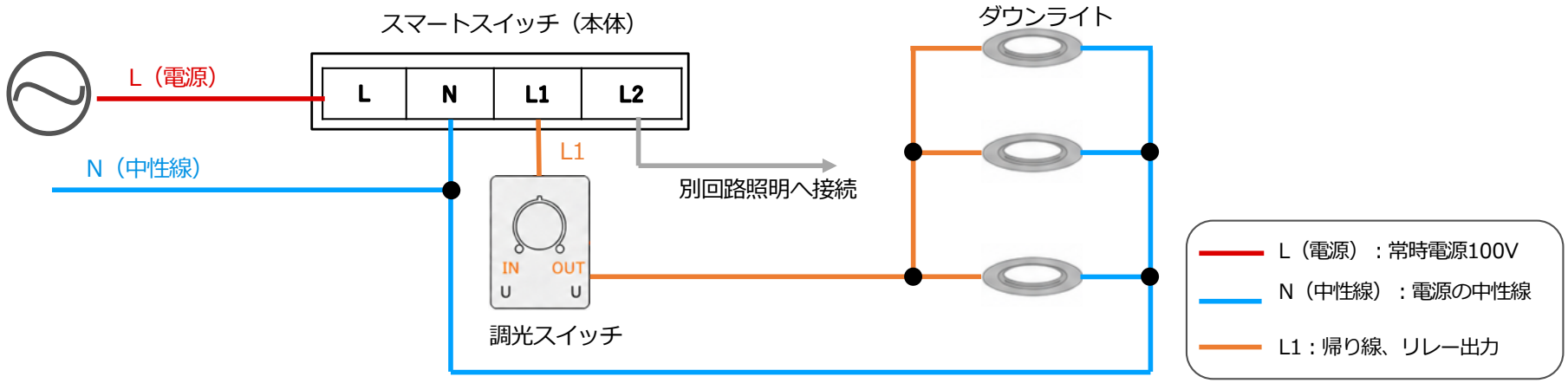
2 配線の流れ

①100V電源 → 常時100Vを供給
→ ②スマートスイッチ → ON／OFF制御
→ ③調光スイッチ → 明るさ調整
→ ④ダウンライト → 点灯・調光

重要

・アプリからはON／OFF操作のみ可能です
・調光は必ず壁の調光スイッチで行います
・調光スイッチ側の電源を切らないでください（電源を切るとアプリでの操作ができなくなります）
・調光スイッチ側の電源についてはメクラプレート　などで操作・切替ができないようにしてください

3 配線図



4 推奨調光スイッチ

※推奨機以外の調光スイッチの動作は保証いたしかねます

メーカー	神保電器	コイズミ	コイズミ	大光電機
型番	NW-RLE5N	AE 55448 E	AE 49350 E	DP-37154GE
外観				
補足				・検証条件：ダウンライト2台接続。 それ以降は未検証。

施工後チェックリスト

- ☐ スマートスイッチのL・Nに常時100V供給されている
- ☐ スマートスイッチのL1（またはL2）から調光スイッチのINへ接続されている
- ☐ 調光スイッチのOUTから照明へ接続されている
- ☐ 壁の調光スイッチで明るさが調整ができる
- ☐ スマートスイッチがボタンを押して正常に動作する

スマートスイッチ　複数箇所操作（3路対応）接続図

1 複数箇所操作について

3路配線と同様の操作が可能です。

ただし、一般的な3路配線（渡り線）は使用しません。

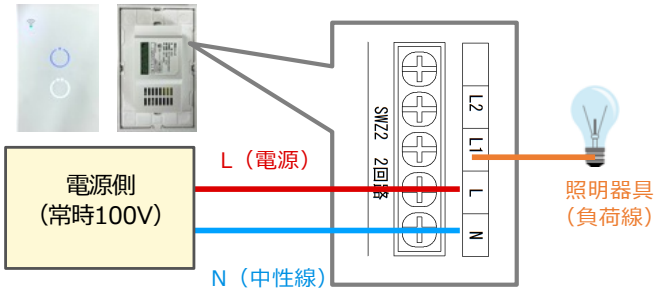
親・子それぞれに常時100V（L・N）が必要です。

2 配線図

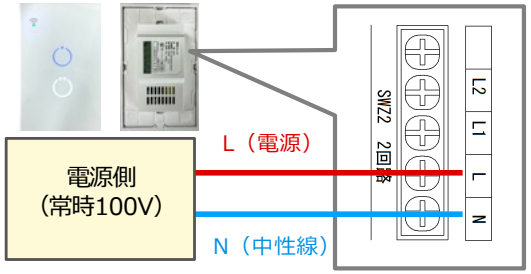
親：照明負荷線を接続するスイッチ

子：負荷線を接続せず、無線で親を操作するスイッチ

親スイッチ



子スイッチ　　L1（負荷1）への配線は不要

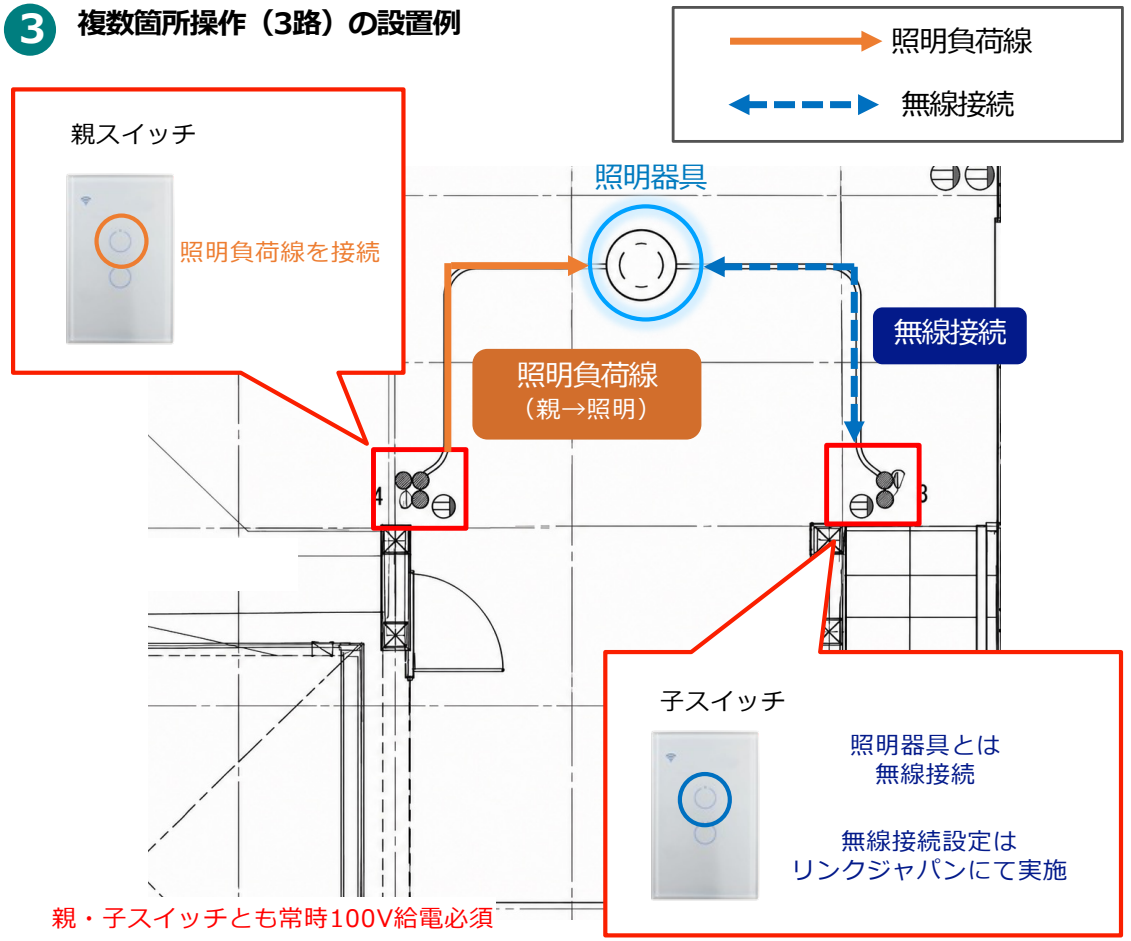


L（電源）
：100V常時電源

L1
：帰り線（負荷線）

N（中性線）
：電源の中性線

3 複数箇所操作（3路）の設置例



重要

・有線で3路配線を組まれた場合、照明スイッチがショートで故障します。

・他社製のスイッチと3路配線を組むことは出来ません。

・子として使用予定のボタンには、負荷の配線を行わないで下さい。

・4路配線等、更に多くのボタンから一つの照明を操作される際、給電済みのスイッチ（子）のみを増やし、照明からの負荷分岐（親）は行わないで下さい。

施工後チェックリスト

- ☐ 3路予定のスイッチは、2台ともスマートスイッチである
- ☐ 親・子スイッチのL/Nに常時100V供給されている
- ☐ 親スイッチのL1（またはL2）が正しく緩みなく照明負荷線が接続されている
- ☐ 子スイッチには、配線がされていない
- ☐ 親子スイッチともにボタンを押すと、カチッカチッと動作する